

保育指導案

指導者 広島市立〇〇幼稚園

教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成20年11月〇日
- 2 対象児 5歳児 〇〇組
- 3 場 所 〇〇幼稚園 〇〇組保育室
- 4 活動名 「〇〇組チャレンジをしよう」

5 幼児の姿

- 進級当初、なかなか自分の思いを相手に伝えようとせず、意見がぶつかるとうすぐに自分の思いを引っ込めてしまったり、じゃんけんて解決しようとしたりする姿が見られた。

そこで、降園前、帰りの会の中に「〇〇組ニュース」のコーナーをつくり、いろいろな思いを伝え、話すことが楽しくなるような雰囲気づくりを心掛けた。また、遊びの中でトラブルが起こったときなどでは解決を急がず、まずはじっくりと思いを聞くようにしてきた。

2学期になると、話し合いの場面では、男児は自分の考えや思ったことを積極的に伝えようとし、いろいろなアイデアも出すようになった。しかし、女児はなかなか思いを出さず、話し合いの中で傍観者になっていることが多い。

- 「〇〇組ニュース」では、「〇〇くんとドッジボールをして楽しかった。」「〇〇くんが、ルールを守ってくれないので困った。」など、その日の出来事を感じたことや思いを話したり、自分ができるようになったことを見てもらいたいと、「あやとり」や「びゅんびゅんごま」を披露したりしている。多くの幼児は、こうした機会を通してみんなに聞いてもらい認めてもらうことに、うれしさや喜びを感じているが、中には友だちの頑張りを素直に認められない幼児や感じていてもその思いを相手に伝えたり、表現したりすることが苦手な幼児もいる。

- 運動会では、「チャレンジ！めざせオリンピック」への取り組みの中で、一人一人が自分の目標に向かい努力する姿が見られた。また、一輪車がなかなかうまく乗れなくても毎日のように頑張っている女児の姿を応援したり、他児の刺激を受け自分の競技に意欲的に取り組んだりと一人の頑張りが他の幼児の頑張りへとつながっていく姿もあった。自分達で順番を考えながらリレーのチームづくりに取り組んだことで、仲間意識も深まってきた。運動会後は男女一緒に遊ぶ姿がよく見られるようになり、ネコとネズミなど鬼遊びをどちらからともなく誘い合い楽しむようになってきている。

6 活動について

- 運動会のチャレンジ種目を通して、幼児たちは「がんばればできる」ことに気づき、自信をつけると同時に、友だちの励ましや協力の大切さ、力を合わせることの楽しさを感じることができた。そこで、生活発表会に向けての取り組みで、「チャレンジ」の要素も取り入れた、「〇〇組チャレンジ」を行うこととした。

- 遊びの内容として、日頃から親しんでいる「あやとり」「びゅんびゅんごま」「ひもごま」などを取り入れているが、これらの遊びに繰り返し挑戦することで、継続して取り組もうとする意欲や最

後までやり遂げようとする意欲の向上が図られ、やり遂げたことが自信につながっていくと考える。

一人でも楽しめる遊びではあるが、友だちに刺激を受け、競争し合うことでさらにチャレンジ意欲を高め、友だちの頑張る姿を見て応援したり、やり方を教え励ましたり、できるようになった喜びに共感したりすることで、伝え合いの力の育ちにもつながっていく活動であると考え。

7 「伝え合いの力」にかかわるこの期のねらい及び内容 (◎ ねらい, ○ 内容)

◎ 考えを出し合ったり役割を分担したりして、みんなで課題に取り組む楽しさを味わう。

◎ 自分なりの目標をもち、それに向かって意欲的に取り組む。

○ 互いに思いを伝え合う楽しさを味わい、自己発揮して活動に取り組む。

○ 話の内容を理解して聞き、感じたことや考えたことを相手に分かるように話す。

8 指導するにあたって

○ 「がんばるマン」「がんばれマン」の話をし、一人一人が目標に向かって頑張る様子を認めながら、友だちの頑張っている様子を意識して見たり、困っている様子があれば積極的に教え合ったりできるようにする。

○ 一人で取り組むのではなく、友だちとのかかわりがもてるように援助し、友だちの頑張る姿を見つれたり教え合ったりする中で、それぞれの思いを言葉で伝え合うことの大切さにも気付かせていきたい。

○ 自分の思いや考えがうまく言葉で伝えられない幼児には、教師がモデルを示したり、必要に応じてどう伝えたらいいのかを一緒に考えたりしながら、思いを伝えられるように援助していく。

○ 安心して話せる雰囲気づくりをし、「○○ちゃん、頑張ったんだな。」「みんなが聞いてくれてうれしかった。」など伝え合う楽しさを感じられるようにする。

○ 前に出て話す幼児が発表するだけで終わらないように、教師は気付きを返していき、子どもの思いを引き出しつなげていくようにする。

9 本時のねらい及び活動

ねらい	○ 自分の思いや考えを伝え合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。		
時間	活動内容	教師の援助	準備物
9 : 10	○ 朝の会をする。 ・ 出席調べをする。 ・ 当番活動をする。 ・ 今日の生活の流れを知る。	・ 挨拶を交わしながら一人一人の心身の様子を把握する。 ・ カードを使って一日の流れを知らせ、今日の活動に見通しがもてるようにする。	
9 : 30	○ 「〇〇組チャレンジをしよう」の活動をする。 ・ 先生の話聞く。 「がんばるマン」「がんばれマン」の話をする。 ・ 「あやとり」「びゅんびゅんごま」「ひもごま」などで遊ぶ。 それぞれの遊びに分かれて取り組む。	・ これまでの「〇〇組チャレンジ」への取り組みの中で、教師が気付いた「がんばるマン」の姿を知らせるとともに、「がんばれマン」はどんな姿を指すのかを一緒に考え、それぞれの姿を具体的にイメージできるようにする。 ・ それぞれの遊びに分かれる前に活動の内容を確認し、それぞれが目標をもって取り組めるようにする。 ・ 幼児一人一人の思いや言葉をしっかりと受け止め、必要に応じて他の幼児に伝える手助けをする。 ・ 教師がモデルとなって教え方や伝え方を示したり、友だちのいいかかわりを紹介したりするなど、どう伝え合えばいいのかに気付かせていくようにする。	「がんばるマン」「がんばれマン」カード あやとり ひもごま びゅんびゅんごま プレート
10 : 05	○ 片付けをする。		
10 : 10	○ 今日の活動を振り返る。 ・ 「がんばるマン」「がんばれマン」を発表し合う。	・ 自分や友だちが頑張っていた姿や友だちにこつを教えていた姿など、気付いたことや思いを引き出し、伝え合う楽しさが味わえるようにする。	

10 評価の観点

- 幼児は、自分の思いや考えを伝えたり、友だちの思いを聞こうとしたりしていたか。